

## 慶應義塾大学アセスメントプラン

慶應義塾大学では3つのポリシー（DP：ディプロマポリシー、CP：カリキュラムポリシー、AP：アドミッションポリシー）に基づいて、教育・学修活動を実践します。そのさい、以下の方法・データ・指標によるアセスメントを実施し、適切に学修成果を把握することを目的とし、さらに教育・学修活動に対する必要な改善に資するよう活用していきます。各学部・研究科におけるアセスメントは、それぞれの学位プログラムに特化した独自の指標によって行われる項目も含めて、適切に把握され評価されます。

アセスメントは、各プログラム・授業科目における適切な成績評価の実施に資するとともに、機関・プログラム・授業科目などの各レベルの教育・学修活動について、それぞれに適した定量的・定性的、直接的・間接的な指標等を用いて、それら活動の成果を評価するために実施します。

※ \*印は直接的な測定または指標、その他は間接的

	入学前／入学時	在学时	卒業時／卒業後
	AP 関連	CP/DP 関連	CP/DP 関連
機関(大学全体・学部)レベル	*入学試験結果 新入生調査	休学や退学の状況(休学・退学率など) *成績分布(GPA など) *修得単位数 在学生調査 外部アセスメント <sup>2</sup> 受講生 FGI <sup>1</sup>	就職や進学状況(就職・進学率など) *資格試験合格率 卒業時調査 卒業生調査 外部アセスメント <sup>2</sup>
プログラムレベルのみ	*プレイズメントテスト	*プレイズメントテスト *キャップストーンプロジェクト <sup>3</sup> *インターンシップ <sup>4</sup>	*卒業研究
授業科目レベル		*成績分布(合格率など) 学生による授業評価 第三者評価(ピアレビューなど) <sup>5</sup>	

注)

1：FGI：フォーカスグループインタビュー

2：外部アセスメントには、いわゆる「雇用主調査」を含む。

3：キャップストーンプロジェクトは、学修のひとつの仕上げとして、修得した知識やスキルを活かして実践的な課題に取り組むプロジェクト。

4：インターンシップは、修得した能力やスキルを外部の実際の状況にて応用することにより、学びを深めるためのプロジェクト。

5：第三者評価には、授業自体やシラバス等の評価を含む。